

<株式会社エフエム東京 第 462 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 31 年 10 月 1 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（2 名）

横 森 美 奈 子 委員長 内 館 牧 子 委員

◇欠席委員（4 名）

渡 辺 貞 夫 委員 秋 元 康 委員
ロバート キャンベル 委員 川 上 未 映 子 委員

◇社側出席者（7 名）

黒 坂 代表取締役社長
西 川 取締役副社長
小 川 常務取締役
延 江 編成制作局ゼネラルプロデューサー
宮 野 編成制作局長代行 兼 編成部長
若 杉 編成制作局制作部長
松任谷 番組プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 宮野放送番組審議会事務局長代行】

4. 議題： 番組試聴（約 27 分）
『令和元年台風 15 号被害への対応』 平日ワイド番組内 ダイジェスト

《議事内容》

議題 1:最近の活動について

■2019年8月度 聴取率調査結果について

2019年8月度の首都圏ラジオ合同聴取率調査結果が、ビデオリサーチより発表されました。（調査対象期間：2019年8月26日～9月1日）

当社コアターゲット M1F1 層（男女 20～34 歳）の全日平均において、今回は、前回 6 月度より順位を下げ、在京第 2 位となりました。

リーチ（到達率）では 12-59 歳区分で 4 期連続在京単独トップ獲得を継続、今回は M1 層・30 代男女でも在京首位を獲得し、かねてからの制作課題であった平均聴取分数も M1 にて上昇いたしました。しかしこれまでの当社の強みであった F1 層にて首位を逃しており、他局に差をつけられる形となりました。

今回の結果を踏まえて、改めて番組内容の総点検はもちろんのこと、リスナーの興味関心・音楽志向・ライフスタイルに合わせて、現状全番組・ゾーンの想定聴取者層の再設定も合わせて検証をやり直します。また、先般当社の課題点であった顔の見えづらくなりつつある編成面においてもこの 10 月改編で強化を図るべく、平日午後の生ワイド帯に新番組を投入し、ステーションブランドの再構築、リスナーのさらなる接触向上を目指してまいります。

■TOKYO FM 2019年10月度改編

TOKYO FM では、9 月 30 日（月）より秋の番組改編を行いました。今回の改編のテーマは、「上質を味わう。本物を楽しむ。」。

FM メディアの原点とも言えるミュージック、カルチャー、エンターテインメント、ジャーナルの面で、「生活者の心を豊かにする」ステーションブランドの強化に主眼に置き、価値観が多様化しても世代を超えて共感される上質なコンテンツの追求に改めて立ち返ることを意図としています。

また、今回の改編においては、日々進化し続ける超情報化社会、ライフスタイルの変化のなかで、興味関心・ライフスタイルなどに合わせるべく、全番組・ゾーンの想定聴取者層の再設定も合わせて実施しています。各世代の捉え方として、【X 世代（1960 年代初頭～70 年代生まれ）】、【Y 世代（1980 年代初頭～95 年頃生まれ）】に続く新しい世代として着目されつつある【Z 世代（1995 年頃～2000 年代生まれ）】といった新しい価値観を持つ世代も台頭してきています。こういった新しい世代マーケットも意識しながら、TOKYO FM では、現在放送中の 10 代向け番組『SCHOOL OF LOCK!』か

ら、FM 最長寿番組『JET STREAM』に至るまで、現状 24 時間のゾーニングを時流に合わせて強化していきながら、X 世代から Z 世代までをブリッジしていく編成を目指してまいります。

その象徴番組のひとつとして 10 月改編において、平日午後の生ワイド帯に、パーソナリティに稲垣吾郎、ハマ・オカモト (OKAMOTO'S) が出演する新番組、『THE TRAD』を昨日、9 月 30 日 (月) 午後 3 時よりスタートしました。平日午後 3 時台の改編は 9 年ぶりとなり、世代を問わず音楽的・文化的志向性が高い層をターゲットに「今日、あえて聴いてほしい上質な音楽」を選曲する本格的音楽番組を目指して参ります。

<主な新番組・新出演者>

◆『THE TRAD』 (東京ローカル)

◇放送時間：月曜日-木曜日 15:00-16:50

◇出演者：稲垣吾郎 (月・火)、ハマ・オカモト (水・木)、吉田明世 (月～木)



平日の午後 3 時に 9 年ぶりの新番組がスタート。架空のレコード店『THE TRAD』を舞台に、「上質な音楽を、じっくり味わう。」をコンセプトに、稲垣吾郎 (月・火曜パーソナリティ) とハマ・オカモト (水・木曜パーソナリティ) が、各音楽

ジャンルに秀でたマイスターたちとともに、本質的で流行に左右されない上質な音楽と趣味の話題をお届けする音楽番組です。アシスタントは、フリーアナウンサーの吉田明世が担当します。

◆『ONE MORNING FRIDAY』 (JFN38 局ネット ※一部ローカル)

◇放送時間：金曜日 6:00-9:00

◇出演者：山崎樹範、ハードキャッスル エリザベス



今年 4 月にスタートした平日朝 6 時から放送中の生ワイド情報番組『ONE MORNING』。10 月から新たに金曜パーソナリティに俳優・山崎樹範を迎えます。

山崎氏は『SCHOOL OF LOCK!』の初代校長として、2010 年に当番組を

卒業、10年ぶりの復帰となり、今度は朝の顔として出勤前のリスナーの背中を押すという新たなステージに挑戦します。

◆『ヒプノシス RADIO』（東京ローカル）

◇放送時間：月曜日 21:30-21:55

◇出演者：ヒプノシスマイク



いま大注目の男性声優によるキャラクター・ラッププロジェクト『ヒプノシスマイク』のレギュラーラジオ番組がスタート。ヒプノシスマイクのキャラクターが、各ディビジョン（チーム）ごとに月替わりで、かつ毎週違うメンバーがラジオDJをつとめます。キャラクターとリスナーがメッセージやお悩み相談などを通じたリアルなコミュニケーションを行っていきます。

◆『KOSÉ HEALING BLUE』（全国 38 局フルネット）

◇放送時間：日曜日 11:00-11:30

◇出演者：大久保佳代子



お笑いコンビ・オアシズの大久保佳代子が TOKYO FM のレギュラー番組に初登場。毎回、注目の男性ゲストを迎えて、すべての女性の悩みにそれぞれの視点でアドバイスしていく癒やし系プログラム。SNS と連動したプレゼント企画も実施していきます。

議題 2 : 番組試聴

【番組名】 『令和元年台風 15 号被害への番組対応』 ダイジェスト

【放送日時】

2019年9月16日（月）～9月19（木） 平日ワイド番組内

『Skyrocket Company』（9月17日）、『ホメラニアン』（9月18日）

『高橋みなみの「これから、何する？」』（9月19日）

【番組概要】

本日ご視聴いただくのは、先月 9 月 5 日に発生した令和元年台風 15 号被害への番組対応のダイジェストです。千葉県南部や伊豆諸島での大きな被害を受け、TOKYO FM では各ワイド番組やニュースを通じ、被害が特に大きかった千葉県南部へは報道部員や番組スタッフが取材に入り、被害状況や、テレビではあまり取り上げない現地の方の生の声を伝えました。また、同じく大きな被害があったにも関わらず、あまり報道されなかった伊豆諸島については、中継局を持つ唯一の民放ラジオ局として各島へ生放送中に電話を繋ぎました。

本日はその紹介の一部として生ワイド 3 番組をダイジェストでご視聴いただきます。

・9月17日／平日夕方5時から放送している『Skyrocket Company』では、千葉県に取材に向かった古賀アナウンサーが被害状況を中継レポートし、番組内では「災害の中で働く」ことをテーマにお届けしました。

・9月18日／平日夜8時から放送している『ホメラニアン』では、式根島在住の新島村商工会の方と電話を繋ぎ島の被害状況や観光案内を伝えました。

・9月19日／平日午後1時から放送している『高橋みなみの「これから、何する？」』では、特に被害の大きかった、千葉県館山市布良（めら）地区へ高橋みなみ自身が実際に足を運んで生レポートを行いました。当日、生放送のスタジオでは、高橋みなみの後輩のAKB48・3代目総監督向井地美音と報道情報センターの古賀涼子アナウンサーが代打のパーソナリティをつとめ、高橋みなみは、現地で見たもの、感じたものを伝えることを大切に放送しました。レポートでは、ブルーシートの屋根が続き、想像していた以上に被害が大きいという状況を伝えながらも、お店などは開いているので、自粛しすぎずに、千葉方面へ遊びに行ったり、またボランティアなどに参加してがれき撤去を手伝ったりすることが必要と、都内のリスナーに向けて呼びかけました。スタジオからは、古賀アナウンサーが、災害時のデマや詐欺を見分ける注意喚起などをフォローしました。



▲ボランティア本部の取材と館山の被害の様子

★次回の開催は11月12日(火)11:00~となります。
※2週目となりますのでご注意ください。